

A 会場（B1F 第1 展示場 A）

9:00～11:00 CPC：固形がん

抄録 P.113

オーガナイザー：後藤 啓介（がん研究会有明病院 臨床病理センター病理部ほか）
浅井 純（浅井皮膚科）
コメンテーター：福本 隆也（福本皮膚病病理診断科）
加来 洋（久留米大学 皮膚科）
加藤 生真（静岡県立静岡がんセンター 病理診断科）

CPC1-1* PRAME 免疫染色と BRAF V600E 免疫染色が有用であった軟部肉腫様巨大脱分化悪性黒色腫の 1 例

白井 萌（うすい もえ）、小池隆弘、生野泰彬、平野慎悟、小林佳道、前田泰広、高橋聡文、藤本徳毅
滋賀医科大学 皮膚科

CPC1-2 右手背の紅色隆起病変

安井茉緒（やすい まお）、丸山彩乃、飯田悠太、山本梨乃、山本由美子、弓場千晶、今村真也、高溝真成、福本 毅
京都府立医科大学 皮膚科

CPC1-3* 胸部正中に生じた SCAND（Sweat-gland carcinoma with neuroendocrine differentiation）の 1 例

福地 毅¹（ふくち つよし）、川平尚生¹、山筋好子¹、指宿敦子¹、橋口貴樹²、江川形平¹
¹鹿児島大学 皮膚科、²橋口皮膚科

CPC1-4* 右頬部の紅色腫瘍

光井康博¹（みつい やすひろ）、小川浩平²、原田雅幸³、安藤冴佳⁴、武田麻衣子⁴、新熊 悟¹
¹奈良県立医科大学 皮膚科、²市立奈良病院 病理診断センター、³奈良県立医科大学 形成外科、⁴奈良県立医科大学 病理診断科

CPC1-5 リンパ節転移を来した Cellular dermatofibroma の 1 例

瀧口徹也（たきぐち てつや）、岩崎 健、林 大輔、深澤拓斗、酒井梨穂、柿沼翔太、太田悠介、中川雅裕
浜松医科大学 形成外科

CPC1-6 新規 TFE3 融合遺伝子を認めた悪性 PEComa の 1 例

宮崎 朗^{1,2}（みやざき あきら）、森章一郎¹、武市拓也¹、小澤享弘¹、本田 直¹、後藤啓介³、秋山真志¹
¹名古屋大学 皮膚科、²国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科、³がん研究会有明病院 病理部

座長：山元 修（鳥取大学 名誉教授）

SP2

ある皮膚病理医が最近日々感じていることー皮膚病理医から皮膚外科医への主にお願ひ少し愚痴

安齋眞一（あんさい しんいち）

PCL 東京病理・細胞診センター

12:20~13:20 ランチョンセミナー 6

抄録 P. 102

座長：宇原 久（札幌医科大学 名誉教授）

LS6

ガイドラインとともにメルケル細胞癌診療を考える

永瀬浩太郎^{1,2}（ながせ こうたろう）¹医療法人ながせ皮膚科、²福岡大学 皮膚科

共催：メルクバイオフーマ株式会社

13:30~15:30 CPC：リンフォーマ

抄録 P. 115

オーガナイザー：吉野 正（岡山大学 名誉教授）

菅谷 誠（国際医療福祉大学 皮膚科）

コメンテーター：新井 栄一（埼玉医科大学総合医療センター病理部）

谷口 恒平（岡山大学 病理診断科）

清原 英司（大阪大学 皮膚科）

米倉健太郎（今村総合病院 皮膚科）

CPC2-1

左手に限局した菌状息肉症の 1 例

坊木ひかり¹（ぼうき ひかり）、大森一星¹、木村エレナ¹、尾松 淳¹、澤柳 昂²、
柴田 彩¹、宮垣朝光³¹東京大学 皮膚科、²東京大学 放射線科、³聖マリアンナ医科大学 皮膚科

CPC2-2

肝浸潤を来した CD4⁺CD8⁺ 菌状息肉症の 1 例野村かれん¹（のむら かれん）、島内隆寿¹、山下真帆²、本田哲也¹¹浜松医科大学 皮膚科、²浜松医科大学 内科学第二講座

CPC2-3

菌状息肉症の治療中に血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫を発症した 1 例

入江絹子¹（いりえ きぬこ）、向山竜人¹、石崎莉子¹、渡邊幸奈¹、伊藤 崇¹、森 龍彦¹、
大塚幹夫¹、山本俊幸¹、目黒啓予²、橋本優子²¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島県立医科大学 病理病態診断学講座

CPC2-4

移植後リンパ増殖性疾患（PTLD）の 2 例

中村杏奈¹（なかむら あんな）、斎藤勇輝¹、阿部理一郎¹、池田正博²、片桐隆幸³、
柴崎康彦³、梅津 哉⁴¹新潟大学 皮膚科、²新潟大学 泌尿器科、³新潟大学 血液内科、⁴新潟大学 病理部

B 会場 (B1F 第 1 展示場 B)

9:00～11:00 皮膚腫瘍外科ビデオシンポジウム【～知っておくべき重要ポイント解説～】
抄録 P. 85

座長：加藤 裕史（名古屋市立大学 皮膚科）
林 礼人（横浜市立大学 形成外科）

V-1 頭頸部悪性腫瘍切除時の注意すべき構造物と手術手技の実際

中村泰大（なかむら やすひろ）

埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

V-2 顔面悪性腫瘍切除後再建に有用な局所皮弁—複合皮弁による機能・形態再建のポイントとピットフォール—

元村尚嗣（もとむら ひさし）

大阪公立大学 形成外科

V-3 動画で解説する植皮術の実際：全層植皮・分層植皮と固定法の工夫

真柄徹也（まがら てつや）

名古屋市立大学 皮膚科

V-4 四肢再建時に有用な筋膜皮弁、穿通枝皮弁

前田 拓（まえだ たく）、北條正洋、石川耕資

北海道大学 形成外科

V-5 軀幹・陰部再建に有用な筋皮弁と穿通枝皮弁—失敗しないための Tips—

安倍吉郎（あべ よしろう）、峯田一秀、山下雄太郎、中川 舞、水口誠人、橋本一郎

徳島大学 形成外科

V-6 部位別リンパ節郭清の重要ポイント

中野英司（なかの えいじ）

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

12:20～13:20 ランチョンセミナー7【アトピー性皮膚炎】 抄録 P. 103

座長：田中 勝（杏林大学 皮膚科）
阿部理一郎（新潟大学 皮膚科）

LS7-1 その皮膚病変、本当にアトピー性皮膚炎？—菌状息肉症を見逃さないために

丸山彩乃（まるやま あやの）

京都府立医科大学 皮膚科

LS7-2 私“寛解導入”にこだわるわけ

片岡葉子 (かたおか ようこ)

大阪はびきの医療センター 皮膚科

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

13:30～14:30 教育講演 5【ダーモスコピー検査の勘どころ その病変、生検しますか？】

抄録 P. 81

座長：田中 勝 (杏林大学 皮膚科)

皆川 茜 (信州大学 皮膚科/東京女子医科大学足立医療センター 皮膚科)

EL5-1 ダーモスコピー検査の勘どころ「その病変生検しますか？」(顔面生毛部)

田中 勝 (たなか まさる)

杏林大学 皮膚科

EL5-2 掌蹠と爪皆川 茜^{1,2} (みながわ あかね)¹信州大学 皮膚科、²東京女子医科大学足立医療センター 皮膚科

ダーモスコピークイズ

C 会場 (B1F 大会議室)

9:10～10:00 一般演題 14 【SCC②】

抄録 P. 146

座長：飯野 志郎 (福井大学医学部 皮膚科)

永田 誠 (京都第一赤十字病院 皮膚科)

C-6-1 ポリコナゾール長期内服中に生じ投与中止後も新生・再発を繰り返す頭頸部多発有棘細胞癌の1例篠澤絵里菜¹ (しのざわ えりな)、梅本尚可¹、森戸和奈¹、長久大介¹、新井優希¹、大城 久²、前川武雄¹¹自治医科大学 さいたま医療センター 皮膚科、²自治医科大学 さいたま医療センター 病理診断科**C-6-2* 化学放射線療法と再発後化学療法により二度の完全奏効を示した巨大外陰部有棘細胞癌の1例**小篠映子¹ (おざさ えいこ)、中村貴之¹、石月翔一郎¹、加藤優佳¹、藤澤康弘²、乃村俊史¹¹筑波大学 皮膚科、²愛媛大学 皮膚科**C-6-3 ニボルマブ・放射線併用療法が奏功した左耳後部有棘細胞癌の1例**

澁田恭平 (しぶた きょうへい)、西盛信幸、藤田英樹

日本大学板橋病院 皮膚科

C-6-4 ニボルマブによる pseudo-progression の可能性を考えた有棘細胞癌の 1 例
 三田英貴¹ (さんだ ひでたか)、森章一郎^{1,2}、横井 将¹、三崎美優¹、近藤あきほ¹、
 深浦 遼¹、山田元人¹
¹豊橋市民病院 皮膚科、²名古屋大学 皮膚科

C-6-5* 免疫チェックポイント阻害薬治療中に局所療法を併用し CR を維持している
 下顎部皮膚有棘細胞癌
 井上卓也 (いのうえ たくや)、中川 彩、杉田和成
 佐賀大学 皮膚科

C-6-6 免疫抑制患者に発生し high-risk HPV の関与が示唆された足関節外果部有棘
 細胞癌の 1 例
 梅木真由子¹ (うめき まゆこ)、津田修志¹、西依 諒¹、西田陽登²、波多野豊¹
¹大分大学 皮膚科、²大分大学 診断病理学

10:10~11:10 一般演題 15 【その他・横断テーマ】

抄録 P. 148

座長：阿部理一郎 (新潟大学 皮膚科)
 金子 高英 (順天堂大学浦安病院 皮膚科)

C-7-1* 頭皮悪性腫瘍切除後に皮弁形成術を用いて再建を行った 2 例
 陣内駿一 (じんない しゅんいち)、高橋 聡
 国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科

C-7-2 皮膚悪性腫瘍に対する緩和的寡分割放射線治療 QUAD Shot の有効性
 六戸大樹¹ (ろくのへ だいき)、吉川未雪¹、原 憲司¹、和田尚子²、漆館聡志²、
 佐藤まり子³、畑山佳臣³、青木昌彦³、赤坂英二郎¹
¹弘前大学 皮膚科、²弘前大学 形成外科、³弘前大学 放射線治療科

C-7-3 リンパ節郭清後リンパ漏：リスク因子の解析と対応策の検討
 中村善雄 (なかむら よしお)、新川紗由香、小林研太、平井郁子、船越 建
 慶應義塾大学 皮膚科

C-7-4 多発肝転移に放射線照射が有効であった悪性黒色腫と有棘細胞癌の 2 例
 前田理沙子¹ (まえだ りさこ)、加藤潤史¹、堀本浩平¹、染谷正則²、戸島有香²、
 松井馨之¹、岸野さゆり¹、肥田時征¹、宇原 久¹
¹札幌医科大学 皮膚科、²札幌医科大学 放射線治療科

C-7-5 リンパ節転移を伴う進行汗孔癌に対し広範切除および術後放射線療法で 2 年
 以上の無再発生存を得た 1 例
 林久美子¹ (はやし くみこ)、日置紘二郎¹、田中 了¹、塩見達志²、河田裕二郎³、
 青山裕美¹
¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 病理学、³川崎医科大学 放射線腫瘍学

C-7-6

当科で手術した、90歳以上の超高齢者の皮膚悪性腫瘍に対する臨床的検討

奥口大充 (おくぐち ひろむ)、芳賀貴裕

気仙沼市立病院 皮膚科

C-7-7

気仙沼市立病院皮膚科における過去10年間の悪性軟部腫瘍

芳賀貴裕¹ (はが たかひろ)、岩間英明^{1,2}、大熊崇生^{1,3}、佐藤遥太^{1,4}、高橋卓也^{1,5}、
武藤雄介^{1,5}、金城賢吾^{1,6}、瀬川康二郎^{1,5}、山本 惇^{1,5}、奥口大充¹¹気仙沼市立病院 皮膚科、²なとり皮膚科 くまのどう内科 下肢静脈瘤クリニック、³大熊皮膚科クリニック、⁴さとう皮フ科、⁵東北大学 皮膚科、⁶石巻赤十字病院 皮膚科

12:20～13:20 ランチョンセミナー 8【BRAF 陽性メラノーマの薬物療法～エビデンスと経験が紡ぐ治療選択～】

抄録 P. 105

座長：中村 泰大 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)

大塚 篤司 (近畿大学 皮膚科)

LS8-1

エビデンスからひも解く進行期 BRAF 陽性メラノーマの治療

緒方 大 (おがた だい)

宮崎大学 皮膚科

LS8-2

実臨床から考える BRAF 陽性メラノーマ治療

ービラフトビ+メクトビ併用療法を中心にー

前川武雄 (まえかわ たけお)

自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科

共催：小野薬品工業株式会社

13:30～14:20 一般演題 20【BCC②】

抄録 P. 158

座長：林 礼人 (横浜市立大学 形成外科)

上原 治朗 (がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科)

C-8-1

結節型基底細胞癌に対する縮小切除マージンの後方視的検討

青木献広^{1,2} (あおき けんこう)、桑原大彰¹、杉本 徹³、小川 令⁴、赤石諭史¹、
伊東慶悟³¹日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科、²湘南鎌倉総合病院 形成外科、³日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科、⁴日本医科大学病院 形成外科・再建外科・美容外科

C-8-2

眼瞼周囲の基底細胞癌切除後の皮膚欠損創に対して ICG 蛍光法による血流評価を用いた眼輪筋皮弁

市川和英 (いちかわ かずひで)、前田 拓、石川耕資、北條正洋、三浦隆洋、

佐々木雄輝、舟山恵美

北海道大学 形成外科

C-8-3***外陰部に生じた巨大基底細胞がんの 1 例**

永田 遼 (ながた りょう)、藤野三奈、田中伶奈、小猿幸希子、福満祥子、
八木田隼啓、小倉香奈子、長野 徹
神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科

C-8-4***外陰部に生じた基底細胞癌の 1 例**

大谷咲貴 (おおたに さき)、帆足俊彦、野口真凜、干川款士、佐伯秀久
日本医科大学 皮膚科

C-8-5**ニボルマブ投与後に Hyperprogressive disease を認めた左足関節部基底細胞癌の 1 例**

石川英里 (いしかわ えり)、西原克彦、桑折信重、吉田 諭、八束和樹、武藤 潤、
白石 研、藤澤康弘
愛媛大学 皮膚科

C-8-6**集学的治療を要した根治切除不能基底細胞癌の 3 例**

神林由美¹ (かんばやし ゆみ)、藤村 卓¹、小林愛里¹、山崎絵美¹、武藤雄介¹、
玉淵恵里佳¹、高橋隼也¹、橋本 彰¹、大内康太²、浅野善英¹
¹東北大学 皮膚科、²東北大学 腫瘍内科

15:40～17:40 2026 年度日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会

座長：前川 武雄 (自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科)
福島 聡 (熊本大学 皮膚科)

開会挨拶

皮膚悪性腫瘍指導専門医委員会 委員長：清原隆宏 (きよはら たかひろ)
関西医科大学総合医療センター 皮膚科

研修-1**皮膚がんに対する放射線治療の現状と今後の展望**

大熊加恵 (おおくま かえ)
国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

研修-2**がん診療における皮膚科医の役割**

竹之内辰也 (たけのうち たつや)
新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科

閉会挨拶

皮膚悪性腫瘍指導専門医委員会 委員：福島 聡 (ふくしま さとし)
熊本大学 皮膚科

9:10~10:00 一般演題 16 【メラノーマ⑤】

抄録 P. 150

座長：大塚 篤司 (近畿大学 皮膚科)

大江 秀一 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)

D-5-1*

色素斑を伴わず、多発皮下結節のみを呈した下肢メラノーマの 1 例

岡崎堯子¹ (おかざき たかこ)、飯野志郎¹、小高愛莉奈¹、西村健太郎¹、馬場夏希¹、
小林知子¹、尾山徳孝¹、長谷川稔¹、片山外大²¹福井大学 皮膚科、²つくしの病院 外科

D-5-2

初期診断において悪性黒色腫を良性疾患と診断した症例を振り返る

船越 建 (ふなこし たける)、松本薫郎、新川紗由香、平井郁子、中村善雄
慶應義塾大学 皮膚科

D-5-3

有棘細胞癌様外観を呈した有茎性悪性黒色腫の 1 例

宜野座淳善¹ (ぎのざ あつよし)、木下美咲¹、林 航¹、福山雅大¹、柴山隆宏²、
柴原純二²、大山 学¹¹杏林大学 皮膚科、²杏林大学 病理学教室

D-5-4

Trousseau 症候群を発症した胸部悪性黒色腫と臀部有棘細胞癌の 2 例

穴戸明衣¹ (ししど めい)、鎌田啓文¹、三浦慎平²、天野博雄²¹岩手県立中央病院 皮膚科、²岩手医科大学 皮膚科

D-5-5*

涙丘部悪性黒色腫の 1 例

石井貴之 (いしい たかゆき)、木村亜里砂、八田尚人
富山県立中央病院 皮膚科

D-5-6*

センチネルリンパ節に nodal blue nevus を伴った cellular blue nevus の
1 例近藤峻平¹ (こんどう しゅんぺい)、松丸多門²、藤広麻由³、本田哲也¹¹浜松医科大学 皮膚科、²聖隷三方原病院 形成外科、³浜松医科大学 病理診断科

10:10~11:00 一般演題 17 【メラノーマ⑥】

抄録 P. 152

座長：船越 建 (慶應義塾大学 皮膚科)

名嘉真健太 (久留米大学 皮膚科)

D-6-1*

Spitz 母斑を思わせた悪性黒色腫の 1 例

野口真凜 (のぐち まりん)、帆足俊彦、干川款士、大谷咲貴、刀祢勇樹、佐伯秀久
日本医科大学 皮膚科

D-6-2*

色素細胞母斑の自然消退部に生じた悪性黒色腫の1例

小木曾達郎 (おぎぞ たつろう)、御子柴飛鳥、代田志保、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

D-6-3

爪下悪性黒色腫に対する腋窩リンパ節郭清術後の重篤な出血で診断に至った
薬剤誘発性免疫性血小板減少症

鹿児島山浩 (かごやま こう)、牧野輝彦、北山祥平、関 太樹、清水忠道
富山大学 皮膚科

D-6-4*

肉眼的境界から広範に進展していた amelanotic malignant melanoma の
1例

堀内美恵¹ (ほりうち みえ)、本田 進²、高野英華²、吉田圭吾²、大塚紀幸³、外丸詩野³、
中里信一⁴、齋藤昌美¹、小山明彦¹、木村 中²
¹福島県立医科大学 形成外科、²函館中央病院 形成外科、³北海道大学病院 病理診断科、
⁴函館中央病院 病理診断科

D-6-5*

小一中型先天性母斑を背景に発症した若年成人悪性黒色腫の1例

西村和敏 (にしむら かずとし)、山村優人、白居駿也、藤井一恭、大塚篤司
近畿大学 皮膚科

D-6-6

手指 Desmoplastic melanoma の局所再発に対して増感放射線治療(KOR-
TUC) が奏効した1例

秦 剛志¹ (はた ごうし)、山田ひかる¹、一ノ瀬里紗¹、福本絢子¹、小野竜輔¹、
久保亮治¹、石原武明²、澤田良子³
¹神戸大学 皮膚科、²神戸大学 放射線科、³神戸大学 整形外科

12:20~13:20 ランチョンセミナー 9

抄録 P. 107

座長：吉田 雄一 (鳥取大学 皮膚科)

LS9

NF1 診療は新時代へー薬物治療時代における皮膚科医の役割ー

延山嘉眞 (のべやま よしまさ)
東京慈恵会医科大学 皮膚科

共催：アレクシオンファーマ合同会社

13:30~14:20 一般演題 21 【SCC③】

抄録 P. 160

座長：清水 健司 (京都府立医科大学北部医療センター 皮膚科)
前田 拓 (北海道大学 形成外科)

D-7-1

shoelace 法による前額皮弁採取部の delayed primary closure

堂本 哲 (どうもと てつ)、伊藤大喜、仲尾 航
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 形成外科

D-7-2 爪部有棘細胞癌 41 例の臨床的検討

結城明彦¹ (ゆうき あきひこ)、木村杏理²、須田有裕子¹、関 太樹¹、高塚純子¹、
竹之内辰也¹

¹新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科

D-7-3***長期の免疫抑制状態及び紫外線暴露で多発有棘細胞癌が生じた全頭部皮膚を再発予防目的で切除した 1 例**

下西広大 (しもにし こうだい)、橋原 亮、持田耕介、緒方 大
宮崎大学 皮膚科

D-7-4**外陰部硬化性萎縮性苔癬より発生した有棘細胞癌の 1 例**

後藤範子 (ごとう のりこ)、河合莉央、直原成美、須藤ゆか、横見明典
市立豊中病院 皮膚科

D-7-5**C-POST : Clinical and patient-reported outcomes in high-risk cutaneous squamous cell carcinoma (CSCC)**

Naoya Yamazaki¹、Sandro Porceddu²、Fiona Day³、Daniel P Brungs⁴、
Hayden Christie⁵、James E Jackson⁶、Kenjiro Namikawa¹、Frank Seebach⁷、
Matthew G Fury⁷、Danny Rischin⁸

¹Dept. of Dermatologic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo、

²Dept. of Radiation Oncology, Peter MacCallum Cancer Centre, Melbourne、

³Dept. of Medical Oncology, Calvary Mater Newcastle, Waratah、

⁴Illawarra Cancer Care Centre, Wollongong Hospital, Wollongong
Graduate School of Medicine, University of Wollongong, Wollongong、

⁵Cancer Care Centre Hervey Bay, Urraween、

⁶Radiation Oncology Centers, Gold Coast、

⁷Regeneron Pharmaceuticals, Inc., Tarrytown、

⁸Dept. of Medical Oncology, Peter MacCallum Cancer Centre, Melbourne

D-7-6**爪の Squamous cell carcinoma 7 例と HPV 感染および TP53、RB1 遺伝子変異の検討**

岸川さつき¹ (きしかわ さつき)、瀬下治孝²、鹿毛勇太²、中野英司²、並川健二郎²、
森 泰昌¹

¹国立がん研究センター中央病院 病理診断科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

E 会場 (B1F 特別展示場 A)

9:10~9:50 一般演題 18 【パジェット病①】

抄録 P. 154

座長：前川 武雄（自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科）
前田 拓哉（がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科）

E-5-1 両側にセンチネルリンパ節を認めた乳房外 Paget 病に関する多施設共同後ろ向き観察研究

酒井良樹^{1,2}（さかい よしき）、中野英司²、堀崎 健^{1,3}、森章一郎¹、鹿毛勇太²、緒方 大^{2,4}、吉川周佐³、山崎直也²、並川健二郎²

¹名古屋大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、

³静岡がんセンター 皮膚科、⁴宮崎大学 皮膚科

E-5-2 臨床的リンパ節腫大のない外陰部乳房外パジェット病における真皮浸潤および SLN 転移予測因子の検討

堀崎 健^{1,2}（ほりさき けん）、吉川周佐²、小俣 渡²、堤田 新²、清原祥夫²

¹名古屋大学 皮膚科、²静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

E-5-3 尿道下裂を伴った乳房外パジェット病の 1 例

和唐純平¹（わとう じゅんぺい）、秋本峰克²、鴻池奈津子³、宇賀神叶美⁴、熊澤憲一¹、天羽康之⁵

¹北里大学 形成外科・美容外科学、²自由が丘クリニック、³佐久平よつばクリニック、

⁴相模原病院 形成外科・美容外科学、⁵北里大学 皮膚科

E-5-4 当科で根治的放射線療法を施行した外陰部乳房外 Paget 病の予後に関する検討

福田朱美（ふくだ あけみ）、中村貴之、四十竹麗、佐々木克仁、乃村俊史
筑波大学 皮膚科

E-5-5* 若年成人女性の外陰部に発生した乳房外 Paget 病の 1 例

足立孝司¹（あだち こうじ）、吉田雄一¹、和久本圭子²

¹鳥取大学 皮膚科、²松江赤十字病院 皮膚科

10:10~11:00 一般演題 19 【パジェット病②】

抄録 P. 156

座長：安田 正人（群馬大学 皮膚科）
森 龍彦（福島県立医科大学 皮膚科）

E-6-1 乳房外 Paget 病におけるバイオマーカーとしての血清 Nectin-4 の有用性の検討

盛田紘有（もりた ひろみち）、宮川卓也、岩澤億斗、森 瞳子、齊藤日向子、川嶋久雄、岡 謙太、尾松 淳、山田大資、柴田 彩

東京大学 皮膚科

E-6-2 ニボルマブが著効した乳房外パジェット病の1例

富江玲那 (とみえ れな)、田中 翔、植村彩記、浦上貴弘、藤本友紀、中谷佳保里、
津田真里、槇村 馨、清原隆宏
関西医科大学総合医療センター 皮膚科

E-6-3* ニボルマブで部分奏効を得た転移性乳房外パジェット病

金納慶蔵 (きんのう けいぞう)、角総一郎、杉原夏子、佐藤篤子、神谷浩二、
小宮根真弓
自治医科大学 皮膚科

E-6-4 トラスツズマブ単剤療法で長期安定した浸潤性乳房外パジェット病の1例

武藤雄介¹ (むとう ゆうすけ)、藤村 卓¹、山崎絵美¹、小林愛里¹、古館禎騎¹、
玉淵恵里佳¹、神林由美¹、橋本 彰¹、城田英和²、浅野善英¹
¹東北大学 皮膚科、²東北大学 腫瘍内科

E-6-5 進行期乳房外 paget 病に対してニボルマブ単剤療法が有効であった1例

菅原依理子¹ (すがわら よりこ)、増澤真実子¹、和唐純平²、今村 駿²、佐藤栄佳¹、
佐々木梓¹、小原宏哉¹、天羽康之¹
¹北里大学 皮膚科、²北里大学 形成外科・美容外科学

E-6-6 乳房外 Paget 病に対しニボルマブを投与した3例

竹中 碧¹ (たけなか みどり)、矢村明久¹、松田 翠¹、三瀬紗弓¹、杉本幸子¹、
富江玲那²、田嶋安紀¹、久米典子¹、清原隆宏²、谷崎英昭¹
¹関西医科大学 皮膚科、²関西医科大学総合医療センター 皮膚科

12:20~13:20 ランチョンセミナー 10【アトピー性皮膚炎の最新治療】 抄録 P. 108

座長：福本 毅 (京都府立医科大学 皮膚科)
室田 浩之 (長崎大学 皮膚科)

LS10-1 臨床試験データから考察するファーストバイオとしてのイブグリースの可能性

天野博雄 (あまの ひろお)
岩手医科大学 皮膚科

LS10-2 臨床試験とリアルワールドデータから考えるイブグリースの価値と至適患者像

杉浦一充 (すぎうら かずみつ)
藤田医科大学 皮膚科

共催：日本イーライリリー株式会社